

高等学校入学者選抜の現状について

1. 平成20年の学習指導要領改訂時の通知における関係の記述..... 2

2. 県公立高等学校入学者選抜の問題作成方針の例
秋田県教育委員会..... 3
千葉県教育委員会..... 5

3. 各都道府県教育委員会の高等学校入学者選抜における思考力等を問う
問題の出題例..... 7

学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに幼稚園教育要領の全部を改正する告示、小学校学習指導要領の全部を改正する告示及び中学校学習指導要領の全部を改正する告示等の公示について

平成20年3月28日 文科初第1357号
各都道府県教育委員会、各指定都市教育委員会、
各都道府県知事、各指定都市市長、附属学校を
置く各国立大学長 宛 文部科学事務次官通知

(抄)

2. 留意事項

(2) 入学者選抜における学力検査

平成23年度以降に実施する中学校の入学者選抜における学力検査については、新小学校学習指導要領に定める各教科の内容が出題範囲となるよう配慮すること。また、平成24年度以降に実施する高等学校の入学者選抜における学力検査については、新中学校学習指導要領に定める各教科の内容が出題範囲となるよう配慮すること。

また、中学校及び高等学校の入学者選抜に当たっては、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力等についてもバランスよく問うことに留意し、知識・技能を活用する力に関する出題の充実に配慮すること。

平成28年度秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査問題作成方針

秋田県教育委員会

1 基本方針

中学校学習指導要領（平成20年文部科学省告示第28号）に基づくものとする。

2 実施教科、検査時間及び出題内容

(1) 前期選抜

ア 学力検査の実施教科は、国語、数学、外国語（英語）の3教科とし、各教科の配点は、それぞれ100点とする。

イ 各教科の検査時間は、各45分とする。

ウ 問題は、各教科の目標・内容に即し、基礎的・基本的な事項を中心としながら、それらを活用して課題を解決することについても、学習の成果が多面的に把握できるように出題する。

(2) 一般選抜

ア 学力検査の実施教科は、全日制の課程においては、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科、定時制の課程においては、国語、数学、外国語（英語）の3教科とし、各教科の配点は、それぞれ100点とする。

イ 各教科の検査時間は、国語、数学、外国語（英語）は各60分、社会、理科は各50分とする。なお、国語の「聞くこと」に関する検査及び英語のリスニングテストは、当該教科の検査開始と同時に10分間程度行う。また、数学では学校による問題選択制を一部取り入れる。

ウ 問題は、各教科の目標・内容に即し、基礎的・基本的な事項及びそれらを活用して課題を解決することについて、学習の成果が多面的にしかもきめ細かに把握できるように出題する。

3 各教科の配慮事項

各教科とも、次の各領域及び事項についての学力がみられるように配慮する。

(1) 国語

ア 話の構成や展開、話し手の意図などを考えながら聞く力（一般選抜のみ）

イ 目的や意図に応じ、自分の気持ちや考えを効果的に伝えるために、ある程度まとまった文章を書く力（一般選抜のみ）

- ウ 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら、内容や要旨を的確に読み取る力
 - エ 各領域の学習に関連する、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（漢字については、常用漢字を読む力と学年別漢字配当表に示されている漢字を書く力）
- (2) 社会
- ア 日本や世界の諸地域などの地理的事象について、自然及び社会的条件と関連させながら理解し、考察する力
 - イ 我が国の歴史的事象について、時代の動きや世界の歴史などに関連させながら理解し、考察する力
 - ウ 現代社会、経済と国民の生活、我が国の政治、国際社会の諸課題などに関する事項について理解し、考察する力
 - エ 地図や地球儀、統計、年表などの諸資料を活用して、社会的事象を様々な角度から判断し、表現する力
- (3) 数学
- ア 数や式を的確に処理する力及び基本的な方程式や不等式を用いる力
 - イ 基本的な図形の性質についての理解及び図形について見通しをもって論理的に考察し表現する力
 - ウ 具体的な事象について関数関係を見だし表現し考察する力
 - エ 不確定な事象について確率を用いて考察する力及び資料や母集団の傾向を読み取る力
 - オ 事象を数学的な見方や考え方に基づいて数理的に考察し表現する力
- (4) 理科
- ア 自然の事物・現象を科学的に探究する過程を通して、その仕組みや働きを多面的、総合的に考察する力
 - イ 観察・実験で得られた事象や結果を分析して解釈し、表現する力
 - ウ 観察・実験の基本操作及び観察・実験の結果を的確に記録・整理するなどの技能に関する力
 - エ 自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、活用する力
- (5) 外国語（英語）
- ア 初歩的な英語を聞いて、その内容を聞き取り、適切に応答する力（一般選抜のみ）
 - イ 場面に応じて適切な英語を用い、自分の考えなどを表現する力
 - ウ まとまりのある英語の文章を読んで、その概要や要点、書き手の意向などを理解する力

平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜における
学力検査の実施教科及び出題方針について

1 実施教科

(1) 前期選抜

国語, 数学, 英語, 理科, 社会(各教科50分, 100点満点)

※国語の問題は, 放送による聞き取り検査を含む。

英語の問題は, 放送によるリスニングテストを含む。

(2) 後期選抜

国語, 数学, 英語, 理科, 社会(各教科40分, 100点満点)

※国語の問題は, 放送による聞き取り検査を含む。

英語の問題は, 放送によるリスニングテストを含む。

2 出題方針

(1) 国語

ア 学習指導要領に基づき, 3領域(「話すこと・聞くこと」, 「書くこと」, 「読むこと」)の基礎的・基本的な力を身に付けているかがみられるようにする。

イ [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]の基礎的・基本的な力を身に付けているかがみられるようにする。

ウ 様々な文章について, 内容を的確に理解し, 書き手の伝えたいことなどを考察する力がみられるようにする。

エ 与えられた材料について, 自分の言葉で考えを適切にまとめたり, 相手に的確に伝えたりする力がみられるようにする。

(2) 数学

ア 学習指導要領に基づき, 数学の基礎的・基本的な知識・技能を身に付けているかがみられるようにする。

イ 多面的にもものを見ることや論理的に考えることの基となる, 数学の理解力がみられるようにする。

ウ 事象を数理的に考察し処理するための判断力及び表現力がみられるようにする。

エ 数学的な見方や考え方を総合的に活用するための思考力がみられるようにする。

(3) 英語

- ア 学習指導要領に基づき、英語の基礎的・基本的な知識・技能を、全領域にわたり身に付けているかがみられるようにする。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通しての理解力や応答力、大切な事柄を落とさず聞き取り、適切に判断して答える力などがみられるようにする。また、「話すこと」の領域では、対話文等により、文脈を理解し適切に発話する力がみられるようにする。
- ウ 「読むこと」の領域では、文や句の意味についての知識だけでなく、文章の概要や要点を把握する力、筆者の意図や考え、文脈などを把握する力、文章や図表等から読み取った情報を基に判断して思考する力がみられるようにする。
- エ 「書くこと」の領域では、基本的な単語を書く力とともに、条件作文の中で、英語を用いて自分の考えなどをまとめ、表現する力がみられるようにする。

(4) 理科

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野、第2分野からバランスよく出題する。
- イ 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けているかがみられるようにする。
- ウ 科学的な見方や考え方を身に付けているかがみられるようにする。
- エ 図や表を基に、科学的に判断する力や結果を表現する力がみられるようにする。
- オ 課題を多面的、総合的にとらえ、科学的に思考し、解決する力がみられるようにする。

(5) 社会

- ア 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果が総合的にみられるようにする。
- イ 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けているかがみられるようにするとともに、現代社会の諸問題に対する関心や理解の程度がみられるようにする。
- ウ 統計や地形図、写真などの諸資料を活用して、社会的事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力がみられるようにする。
- エ 社会的事象を総合的に考察する力や筋道を立てて思考する力がみられるようにする。

各都道府県教育委員会の高等学校入学者選抜における思考力等を問う問題の出題例

国立教育政策研究所
教育課程研究センター

【本資料の趣旨等について】

国立教育政策研究所教育課程研究センターでは、都道府県教育委員会の御協力を得て、各都道府県の平成27年度高等学校入学者選抜において、以下のような力を測ることが可能な問題（国語，社会，数学，理科，外国語）を収集いたしました。

- 論理的に思考する力
- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力

御協力いただいた教育委員会に対し、厚く御礼申し上げます。

御提出いただいた問題の中から、当センターの関係調査官が特徴的なものを選び、簡単な分析所見を付しております。

各教育委員会におかれましては、今後の施策，事業の推進に当たり、本資料を参考にしていただければ幸いです。

〔本件担当〕

国立教育政策研究所 教育課程研究センター
研究開発部 研究開発課 指導係 岩切，伊倉
〒100-8951 東京都千代田区霞が関3-2-2
電話 03-6733-6824 FAX 03-6733-6978
e-mail shidoukk@nier.go.jp

各都道府県教育委員会の高等学校入学者選抜における思考力等を問う問題の出題例

【目 次】

○国語における出題例及び正答等	1
○社会における出題例及び正答等	9
○数学における出題例及び正答等	21
○理科における出題例及び正答等	33
○外国語における出題例及び正答等	47

国語における出題例

- 【出題例 1】岩手県〔4 (3)〕
- 【出題例 2】福井県〔五〕
- 【出題例 3】島根県〔【第五問題】〕
- 【出題例 4】大分県〔【五】問二〕
- 国語における出題例の正答等

○国語における出題例

【出題例 1】 * 該当問題 4 (3) 岩手県

4 次の文章を読んで、あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

高名かうみやうの木登りといひし男おとこ、人を掙おきて、高き木に登のぼせて梢こずえを切きり、木登り名人きり名人として有名な男おとこ 指図して

らせしに、いと危あやふく見えしほどは言いふこともなく、降おるる時に、

軒長のきながばかりになりて、「過あやちすな。心して降りよ」と言葉ことばをかけ侍はりし家いへの軒のきの高たかさくらさ まだので

を、「かばかりになりては、飛び降おるるとも降りなん。いかにかく言いふ 降りられるたうと ついでにのまう

ぞ」と申し侍まりしかば、「そのことに候まうふ。目めくるめき、枝危えだあやふきは 申しあげましたこと 目か

どは、己おのれが恐れ侍まれば申まさず。過あやちは、やすき所ところになりて、必ず

仕つかまつることに候まふ」と言いふ。 いたすもので

(「徒然草」より)

(3) 次の漢文は、本文と似た教えを述べています。この漢文が伝えている教えの内容と、それに結びつく具体的な出来事を、あとの

【条件】①～③に従って書きなさい。(12点)

行ユ百里ハ者ハ半ニ於ニ九十ヲ (注)

百里ハを行ユく者は、九十ヲを半ニばとす。 (「戦国策」より)

(注)百里…(当時の中国で)約四十キロメートル。

【条件】

- ① 原稿用紙の正しい使い方に従って、二つの段落で構成し、七行以上十行以内で書くこと。
- ② 第一段落では、この漢文が伝えている教えの内容を書くこと。
- ③ 第二段落では、この漢文が伝えている教えの内容に結びつく具体的な出来事を、自分の経験や見聞きしたことをもとにして書くこと。

※ (1) (2) は、該当問題ではないため省略

【分析所見】

本設問では、日本(古文)と中国(漢文)に似た考えがあることを踏まえた上で、それを自分の経験や見聞きしたことと結び付けて書くことを求めている。古典に表れたものの見方や考え方を、自分に引き寄せて考えさせている点に工夫が見られる。

五 次の資料Aは、本来と異なる言い方で使用されることの多い言葉の例と、その言い方をする人の割合などを表したものである。また、下の資料Bの文章は、ある新聞のコラムである。この二つの資料を読んで、言葉の使い方についてあなたの意見をあとの注意に従って書け。

資料A 本来と異なる言い方で使用されることの多い言葉の例とその言い方をする人の割合

本来と異なる言い方	割合 (%)	本来の言い方	割合 (%)	この言葉を使ったことがない人の割合 (%)	意味
間が持たない	68.3	間が持てない	15.3	16.4	途切れがちな会話などを、うまくつなぐことができない。
足下(あしもと)をすくう	61.3	足をすくう	20.5	18.2	相手のすきをついて失敗させる。
熱にうなされる	51.8	熱に浮かされる	28.5	19.7	病気で高熱のためにうわごとを言う。前後を忘れて夢中になる。
上には上がいる	51.1	上には上がある	33.8	15.1	最高に優れていると思っても、さらに優れたものがある。
愛想(あいそ)を振りまく	49.3	愛嬌(あいきょう)を振りまく	30.2	20.5	相手を喜ばせるような振る舞いをする。

(小学館「本来と異なる意味・言い方で使用される言葉ランキング」による)

資料B ある新聞のコラム

言葉の使い方についての調査に対する世間の関心は高い。本来の言い方を知って、「間違えている人が多い」「これが本来の言い方だとは知らなかった」といった、クイズを解くような感覚で受け止める人も多く、「本来の言い方」「正しい言い方」と捉えられがちである。

もちろん、「本来はこうである」という言葉の持つ「伝統」が、言葉の正しさの条件の筆頭であろう。我々には、正しい日本語を後世に伝えていく義務がある。

しかし、正しいか正しくないかの基準を「伝統」のみに限定してしまふと、言葉の変化は全て「乱れ」とするしかなくなり、言語使用の実態からかけ離れていくおそれがあるという意見もある。多くの人に支持されて幅広く使われれば、その言葉は「正しさ」を獲得していくという考えを持つ人は、世間に広く受け入れられているかどうか、つまり「広がり」を無視することはできないと主張する。

日本語の使い方は、これからのようになっていくのがよいのだろうか。「伝統」を重視するべきなのか、それとも「広がり」など他の基準も認めるべきなのか。若い世代の皆さんにもぜひ考えてもらいたい。

注意

- 1 本文は二段落構成にし、二百字以上、二百四十文字以内で書くこと。
 - 2 第一段落には、資料Aの中から、あなたが使ったことがある言葉、または聞いたことがある言葉の一つを選び、どのような状況で使われたのかを書くこと。ただし、「本来と異なる言い方」、「本来の言い方」のどちらを選んでもかまわない。
 - 3 第二段落には、第一段落の内容を踏まえ、「伝統」と「広がり」の二つの言葉を必ず用いて、言葉の使い方についてあなたの意見を書くこと。
 - 4 題名や氏名は書かないで、直接本文から書き始めること。
 - 5 原稿用紙の正しい使い方に従い、文字や仮名遣いなどを正しく書くこと。また、漢字を適切に使用すること。
- なお、表の中の数値を使用する場合は、次の例にならって書くこと。

六
十
八
・
三
%

6 下書きをする場合には、左の「下書き用原稿用紙」を使ってよい。

【分析所見】

本設問では、自分の日常生活での言葉の使用場面と提示された複数の資料を結び付け、自分の考えを述べることを求めている。事実や事柄に具体例を加えて書かせている点に工夫が見られる。

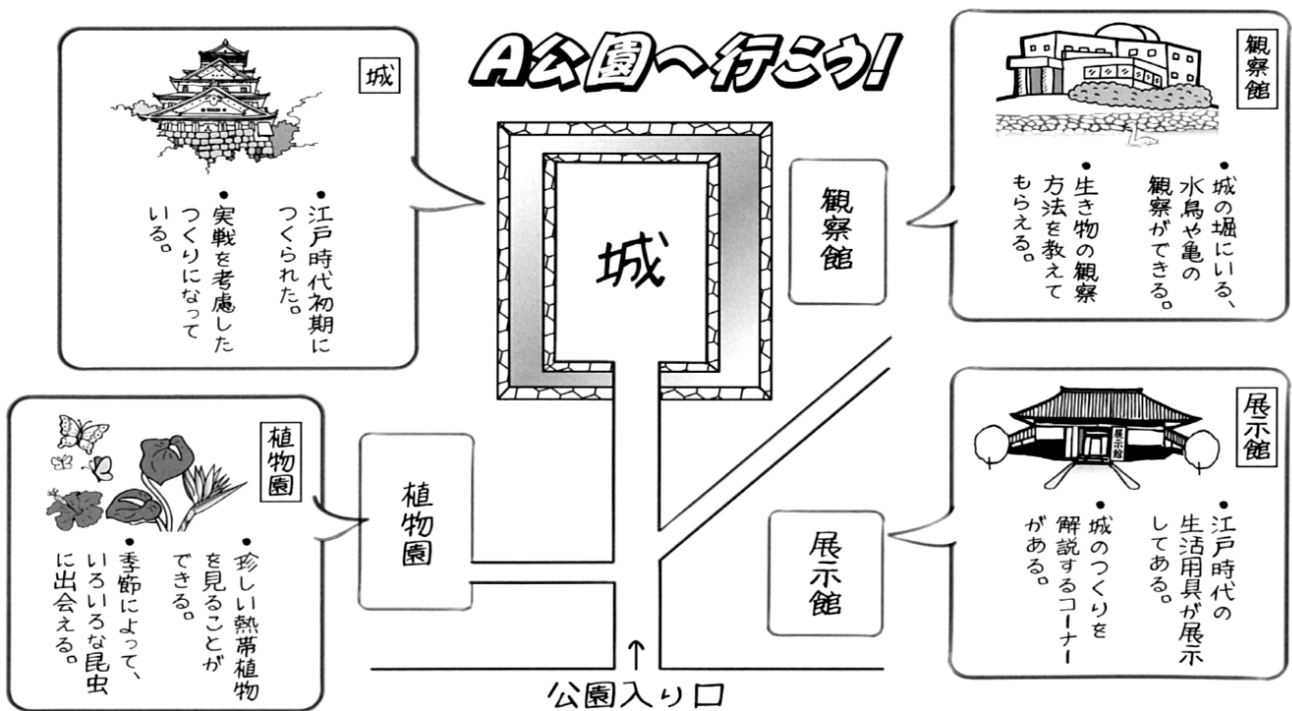
【第五問題】

クラスで校外学習に出かけることになりました。行き先はA公園です。学習係がA公園について調べ、下の資料を作りました。クラスの人たちは、学習係が設定する二つのコース（歴史コース・自然コース）から一つを選んで、公園をまわります。

あなたは学習係として、どちらかのコースをクラスの人たちに薦める文章を書くことになりました。

次の条件に従って、文章を書きなさい。

- ① 歴史コース、自然コースのどちらかを選んで書くこと。
 - ② 下の資料に示された四箇所のうち、①で選んだコースの見学にふさわしい二箇所を取り上げること。
 - ③ 資料に示された情報をもとに、そのコースを薦める理由も考えて書くこと。ただし、情報のすべてを使う必要はない。
 - ④ 百二十字以上、百五十字以内でまとめること。句読点や記号も一字として数える。ただし、一マス目から書き始め、段落は設けない。
- ※読み返して文章の一部を直したいときは、二本線で消したり、余白に書き加えたりしてもよい。



【分析所見】

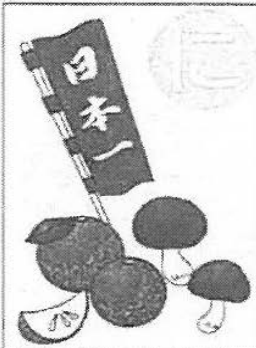


本設問は、学習係の立場で、A公園のコースを薦める文章を条件に基づいて書くことを求めている。目的を理解した上で、資料に示された公園の情報から自分の考えに応じて必要なものを選択し、理由に基づいて、相手の意欲を喚起したり相手を説得したりする文章を書かせようとする点に工夫が見られる。

【出題例4】 * 該当問題 【五】 問二 大分県

【五】 中学三年生のさとしさんは、「食」をテーマに調べ学習を行った。次の問一、問二に答えなさい。なお、答えに字数制限がある場合は、句読点や「」などの記号も一字と数えなさい。

問二 さとしさんは、大分県のホームページなどを調べ、食育に関するかるたを見付けた。その中から気に入ったものとして次の三つの「かるた」A、B、Cを選んだ。これらの「かるた」について、あなたはどのように思うか。A、B、Cのうちから一つ選び、選んだ「かるた」の読み札の（表現の特徴とその効果）と（内容）についてのあなたの考えを、後の「条件」に従って書きなさい。

【かるた】

<p>A</p>  <p>(大分県「食育かるた」から)</p>	<p>にほんいち おおいいたじまんの かぼすとしいたけ</p>
<p>B</p>  <p>(佐伯市「さいきつず食育かるた」から)</p>	<p>すきぎらい いつかはきつと たべられる</p>
<p>C</p>  <p>(宇佐市「うさ食育いろはカルタ」から)</p>	<p>いえたかえ （言） いただきますと ごちそうさま</p>

条件

前半には、選んだ「かるた」の読み札の（表現の特徴とその効果）について書きなさい。その際、どれを選んだか分かるようにA、B、Cの記号を用いて書くとともに、表現の特徴については、他の二つには見られないものを取り上げること。
後半には、選んだ「かるた」の（内容）について、「食」に関する自分の考えを具体的に書くこと。
・常体（だ・である）で、八十字以上百二十字以内で書くこと。
・本文を一行目の一マス目から書き始め、行は改めないこと。

※ 問一は、該当問題ではないため省略

【分析所見】
本設問は、AからCのかるたを選ぶ際に、表現の特徴とその効果に触れることを求めていることだけでなく、選ばなかった他のかるたに見られない特徴を挙げることを求めている。知識・技能を活用しながら自分の考えを記述する問題である。実際のかるたを用いることで、社会生活や地域の文化とつなげている点にも工夫が見られる。

○国語における出題例の正答等

【出題例1】 * 該当問題 4 (3) 岩手県

つ	な	油	ず	い	こ	か	(例)
た	っ	断	か	ム	サ	ま	漢
こ	た	し	と	が	ッ	す	な
と	の	て	な	リ	カ	。	く
が	で	し	っ	い	い		取
あ	、	ま	た	ド	の		り
り	お	い	時	し	試		組
ま	互	、	、	、	合		み
し	い	得	勝	終	で		な
た	に	点	ち	了	、		さ
。	声	さ	を	ま	私		い
	を	れ	意	で	た		と
	か	そ	識	あ	ち		教
	け	う	し	と	の		え
	合	に	て	わ	チ		て

【出題例2】 * 該当問題 五 福井県

五				
e	d	c	b	a
表 記	表 現	第 二 段 落 の 内 容	第 一 段 落 の 内 容	段 字 落 数
2 点	2 点	5 点	4 点	2 点
15 点				

本文は二段落構成とし、二百字以上、二百四十文字以内で書くこと。
 第一段落には、資料Aの中から言葉の一つを選び、どのような状況で使われたのかを書くこと。
 第二段落には、第一段落の内容を踏まえ、「伝統」と「広がり」の二つの言葉を必ず用いて、意見を書くこと。
 原稿用紙を正しく使い、文字や仮名遣いなどを正しく書くこと。漢字を適切に使うこと。その他、注意に従い、適切に書くことが求められる。

【出題例3】 * 該当問題 【第五問題】 島根県

【出題例4】 * 該当問題 【五】問二 大分県

【歴史コース・例】

校外学習には、城と展示館をまわる歴史コースを薦めます。城は江戸時代初期につくられたものです。展示館には江戸時代の生活用具が展示されており、当時の暮らしを知ることができます。このコースを歩けば、江戸時代についての理解が深まり、歴史を学ぶことが楽しくなります。ぜひ歴史コースを歩いてください。(144字)

【自然コース・例】

A公園に行くと、いろいろな生き物に出会えます。植物園には季節によっていろいろな昆虫がいるので探してください。観察館に行けば、お堀にいる水鳥や亀が観察でき、観察方法も教えてもらえます。普段、これらの生き物と触れ合う機会は少ないと思います。ぜひ自然コースをまわって、生き物の面白さを実感してください。(148字)

【解答例】

Aのかるたはふるさとの特産品について具体的な名称を挙げている。それにより、かるたを見た人に強い印象を与えることができる。大分には誇ることのできる特産品がある。ふるさとの食材や加工品、郷土料理について関心を高めるためにも食育が必要だと考える。

社会における出題例

〈地理的分野〉

○【出題例 1】岩手県〔9 (3)〕

○【出題例 2】広島県〔4 2 (2)〕

〈歴史的分野〉

○【出題例 3】東京都〔4 〔問 3〕〕

○【出題例 4】広島県〔2 5〕

〈公民的分野〉

○【出題例 5】栃木県〔6 1 (6)〕

○【出題例 6】鳥取県〔【問題 3】問 1 (5)〕

○ 社会における出題例の正答等

○社会における出題例
 <地理的分野>

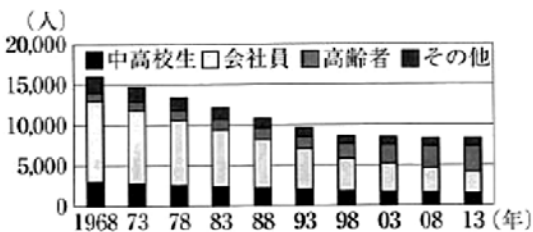
【出題例 1】 * 該当問題 9 (3) 岩手県

9 次の文を読んで、下の(1)～(3)の問いに答えなさい。

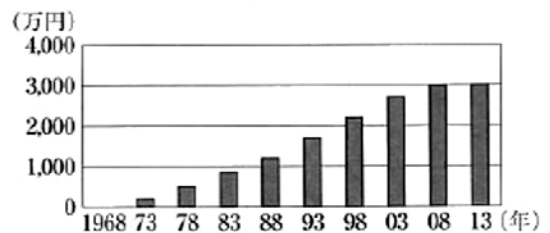
政府の役割は、時代とともに変化してきた。自由権の保障などに加え、20世紀に入ると、^①社会権の保障などが求められるようになり、各国の政府は、社会保障制度の整備に努めている。また、社会資本の整備も役割の一つであり、わが国でも、高度経済成長期に、^②新幹線や高速道路などの交通網が整備された。しかし、経済や福祉分野への政府の積極的な介入は、多額の財政赤字を生み出す一つの要因となったこともあり、近年、政府や^③地方公共団体の果たすべき役割を見直そうという動きがある。

(3) 下線部③について、ある市では、市営バスの、ある赤字路線の今後のあり方について、市民の意見を聴くための集会を開きました。次の資料Ⅰ～Ⅲは、この集会の際に、市の担当者が当該路線の現状を説明するために用意したものです。当該路線について、廃止を主張する理由と存続を主張する理由の両方を、それぞれ一つの資料を選び、その資料に基づいて簡単に書きなさい。ただし、廃止と存続で同じ資料を用いないこととします。(3点×2)

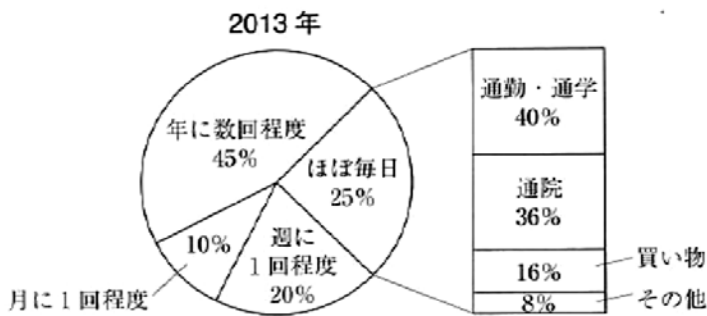
資料Ⅰ 当該路線の年間利用者数の推移と内訳



資料Ⅱ 当該路線の年間赤字額の推移



資料Ⅲ 当該路線の利用者への利用頻度に関するアンケート結果 (回答数 100人)



※(1), (2)は、該当問題ではないため省略

【分析所見】

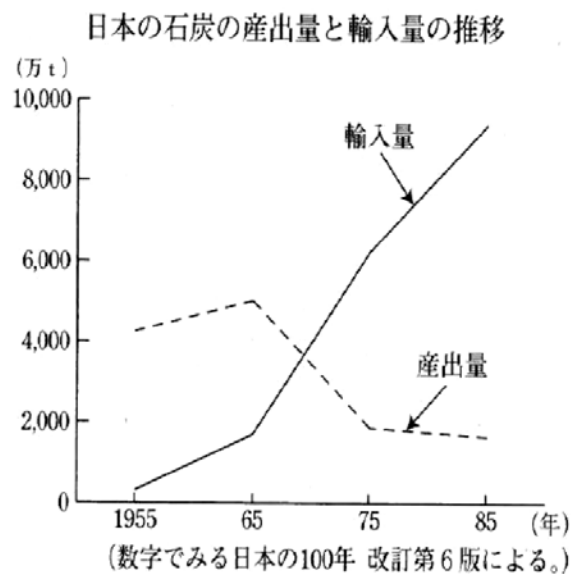
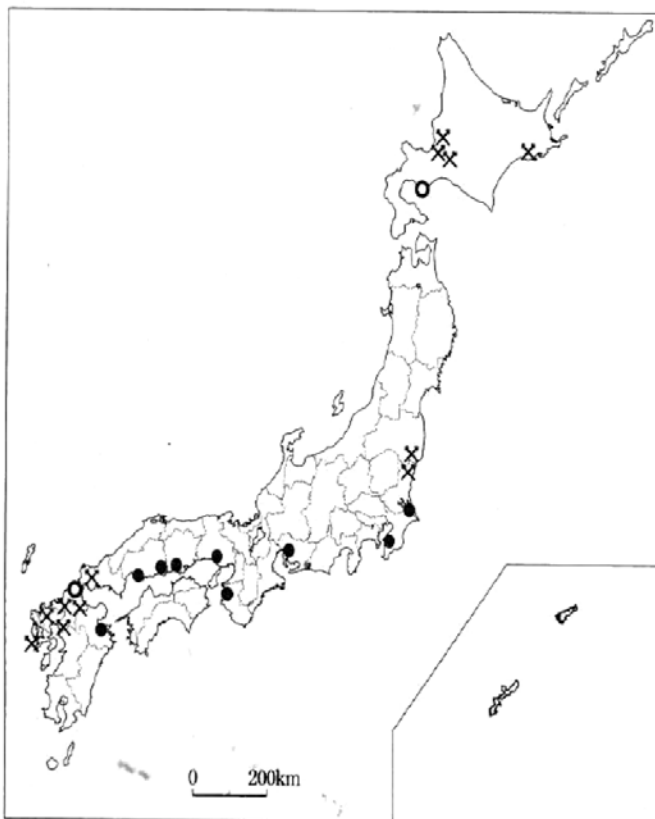
赤字路線である市営バスの今後の在り方について、その存廃の根拠となる資料として適切なものを、当該路線に関わる3種類のグラフから選び、それらを用いて路線存廃、両主張の理由を述べる問題である。資料それぞれからは、路線存廃の両面の情報が読み取れるが、一般に、様々な情報(資料)の中から、その差異を勘案し、選択するという、社会科ならではの思考力を問う問題となっている。また、現代日本が直面している課題について、資料を基に自分の考えを提案できる力を試す問題にもなっている。

【出題例 2】 * 該当問題 4 2 (2) 広島県

4 2 下線部 ② に関して、次の (1)・(2) に答えなさい。

※下線部②は、別掲図中の「官営の八幡製鉄所がつくれ」が該当

(2) 次の地図中の ○ は、現在操業している製鉄所のうち、1926年（大正15年）までにつくられた主な製鉄所のある都市を、× はこれらの製鉄所がつくられたころの主な石炭の産地を示しています。また、● は1955年以降につくられた主な製鉄所のある都市を示しています。製鉄所が、● に示された都市にもつくられるようになったのはなぜだと考えられますか。日本の石炭の産出量と輸入量の推移を示したグラフをもとに、簡潔に書きなさい。



※1, 2(1), 3, 4 は該当問題ではないため省略

【分析所見】

日本の製鉄都市の変遷について、原料立地から臨海立地に至る過程を、原料となる石炭の産出量と輸入量の推移という歴史的背景を踏まえて説明する問題である。このような地図と資料から情報を読み取って、比較したり、関連付けたりして理由や根拠を述べる設定は、生徒の思考を促す「なぜ」という問いがあり、授業場面をも想定した問題になっている。

<歴史的分野>

【出題例3】 *該当問題 4 [問3] 東京都

4 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

食は、人々が生命を維持し、活動し、成長するために欠かせないものである。人々は、自分たちの住む地域の気候風土を生かし、知恵と工夫により、食生活を豊かなものにしてきた。

我が国の人々は、四季折々に採集できる植物、狩猟で捕えた動物や魚介類を食材としていた。その後、植物の栽培、土器を使った煮炊きや保存などの食に関する技術を向上させるとともに、外国から伝えられた様々な食文化を生活に取り入れることで、食生活を多様化させてきた。

(1) 一方で、農業技術の向上や肥料の使用などにより、農業の生産力が高まる中、各地に様々な食に関する特産物が生まれるとともに、やがて、その中から、販売し現金収入を得ることを目的に作られる特産物も出てきた。特に江戸時代には、交通路がより一層整備され、食に関する特産物が広範囲に流通するようになり、地域の食文化に大きな影響を与えた。

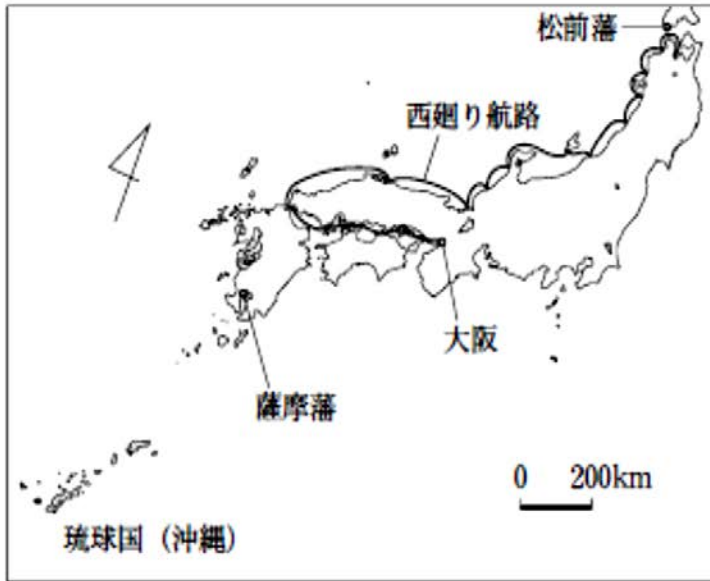
明治時代以降は、諸外国との関係が一層強まり、国際関係の変化が我が国の食生活にも大きな影響を与える中で、政府は国民の食生活に大きく関わるようになった。

[問3] 交通路がより一層整備され、食に関する特産物が広範囲に流通するようになり、地域の食文化に大きな影響を与えた。とあるが、次のⅠの文章は、沖縄の伝統料理とその食材についてまとめたものである。Ⅱの略地図は、江戸時代の日本の海上交通路の一部を示したものである。Ⅲの略年表は、江戸時代の日本の海上交通路、薩摩藩、松前藩に関する主な出来事についてまとめたものである。沖縄でとれない食材を使った料理が沖縄で作ることができた理由を、Ⅰ～Ⅲの資料を活用し、特産物の流通に着目して、簡単に述べよ。

Ⅰ

- 沖縄の伝統料理の一つにクーブイリチーがある。
- クーブイリチーは、水で戻した刻み昆布、豚肉、こんにゃく、油揚げ、かまぼこなどを混ぜて炒め煮にしたものである。
- クーブイリチーの食材の一つである昆布は、主に北海道でとれ、沖縄ではとれない。

II



III

西暦	江戸時代の日本の海上交通路、薩摩藩、松前藩に関する主な出来事
1604	●松前藩がアイヌ交易の独占権を認められ、鮭や昆布、毛皮などを本州の商人に販売した。
1609	●薩摩藩が琉球国（沖縄）を支配した。
1672	●幕府の命令を受けた荷村瑞賢が西廻り航路を開いた。
1713	●薩摩藩が黒砂糖を大阪へ初めて積み出した。
1788	●薩摩藩が琉球国（沖縄）の黒砂糖を大阪で販売し、大阪で購入した昆布を琉球国（沖縄）で販売した。
1830	●薩摩藩が黒砂糖の販売権を独占した。

（「鹿児島県史」などより作成）

※問 1, 問 2, 問 4 は, 該当問題ではないため省略

【分析所見】

江戸時代の海上交通路を示した地図、その時代の幕府や藩に関する出来事をまとめた年表を活用して、地域の食文化形成の背後には、地方の特産物を広く流通させる幕府や藩の政策があったことを説明させる問題である。生徒の思考を促す問いの立て方を工夫しており、現在の私たちの生活の背後には過去の人々の意思決定があることを理解するという歴史を学ぶ意義を実感できる問題構成となっている。実際の授業における学習過程を意識して資料を提示しており、地域の食文化形成の歴史的な経緯を調べる学習活動やその成果を問う問題としても参考になる。

【出題例 4】 * 該当問題 2 5 広島県

2

5 次のア・イは、室町時代と江戸時代にえがかれた絵のいずれかを示しています。ア・イのうち、室町時代にえがかれた絵はどちらですか。その記号を書きなさい。また、その記号が答えとなる理由を、右の資料から読み取れる室町時代の文化の特色と関連づけ、「禅宗」の語を用いて、簡潔に書きなさい。

ア

秋冬山水図
・冬景図
(雪舟等揚)

イ

富嶽三十六景
神奈川沖波裏
(葛飾北斎)

資料

書院造の部屋 (写真)

龍安寺の石庭 (写真)

※1~4, 6 は、該当問題ではないため省略

【分析所見】

雪舟の水墨画と葛飾北斎の浮世絵の中から室町時代の絵を選ばせ、その理由を記述させる問題である。工夫点は、理由の記述のさせ方である。あわせて示された書院造と石庭の両写真資料から室町時代の文化の特色を読み取り、それに深く関連する作品であることを柱に、今次学習指導要領に明記された「禅宗」の語を用いて記述するよう求めている。知識だけでも解答できそうな著名な作品について、その時代的背景となる文化全体の特色と関連付ける力を見ようとする問題となっている。

<公民的分野>

【出題例5】 *該当問題 6 1(6) 栃木県

6 次の1, 2の問いに答えなさい。

1 次の二つの文は、中学生が職場体験で印象に残ったことを簡潔にまとめたものの一節である。これを読んで(1)から(6)までの問いに答えなさい。

私が職場体験に行った駅には、②高齢者や障害者の通行の妨げとなる段差がなく、車いす対応のエスカレーターもあり、障壁を取り除く **I** 化が進んでいました。ユニバーサルデザインを取り入れた幅の広い自動改札や、⑥分別しやすいように絵記号のついたゴミ箱も印象的でした。

私が職場体験に行ったスーパーマーケットでは、③日本の年中行事である節分に向けた商品も取りそろえていて、④消費者のニーズに応えようとしていることが分かりました。また、店の人が、天候によって⑤野菜の価格は上がったり下がったりすると言っていたのが印象に残っています。

(6) 下線部⑤に関して、次の文は図1を読みとり考えられることをまとめたものである。「平均価格」と「需要量」の語を用いて、**II**に当てはまるように簡潔に書きなさい。

2月と9月を比べると、だいこんの市場への供給量はほぼ同じであるが、9月の方が **II** と考えられる。

東京都中央卸売市場におけるだいこんの供給量と平均価格(2013年)

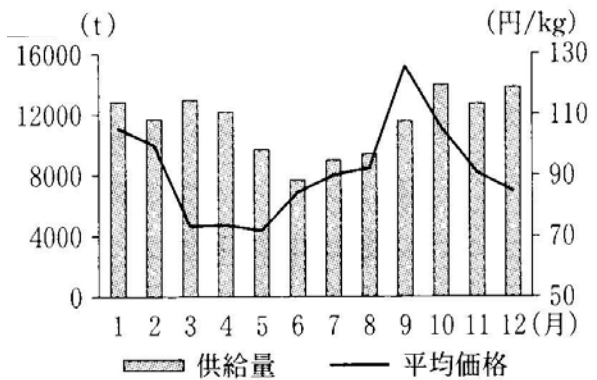


図1 (「野菜情報総合把握システム」により作成)

※1(1)~(5), 2は、該当問題ではないため省略

【分析所見】

卸売市場におけるだいこんの月別供給量と月別平均価格の推移のグラフを提示し、供給量がほぼ同じであるにもかかわらず価格に差がある月に着目させ、その理由を説明させる問題である。習得した需要と供給、市場価格などの概念を日常生活場面に活用する力を問う問題であり、思考力・判断力・表現力を問う問題である。

【出題例6】 *該当問題 【問題3】問1 (5) 鳥取県

【問題3】

問1 次の5つのテーマについて、班に分かれて調べた。あとの各問いに答えなさい。

テーマ

- 1班 「国際連合の活動」
- 2班 「私たちの意見を国の政治に届ける方法」
- 3班 「人権と公共の福祉」
- 4班 「公正な裁判のしくみ」
- 5班 「環境保全と経済」

(5) 5班は、「環境保全と経済」について話し合った。次の話し合った内容はその一部である。Aさん、Cさん、Dさんの考えを、右ページの図の①、②、③のいずれかにあてはめたときの組み合わせとして最も適切なものを、あとのア～エからひとつ選び、記号で答えなさい。なお、Bさんの立場を示した位置は、あらかじめ図中に示してある。

話し合った内容

司会者：1997年に地球温暖化防止京都会議が開かれ、京都議定書において、温室効果ガスの排出量を削減することが合意されました。地球温暖化防止対策のあり方について、意見を出し合いました。

Aさん：日本は、「温室効果ガスの排出量を1990年比で6%削減する」という目標でしたが、2007年の時点では1990年比で8.2%上回りましたね。

Bさん：ヨーロッパでは、厳しい環境基準や環境税を設ける取り組みを進めて温室効果ガスを削減してきました。これらの取り組みを参考にして、世界の各国も一致して取り組めばいいと思います。

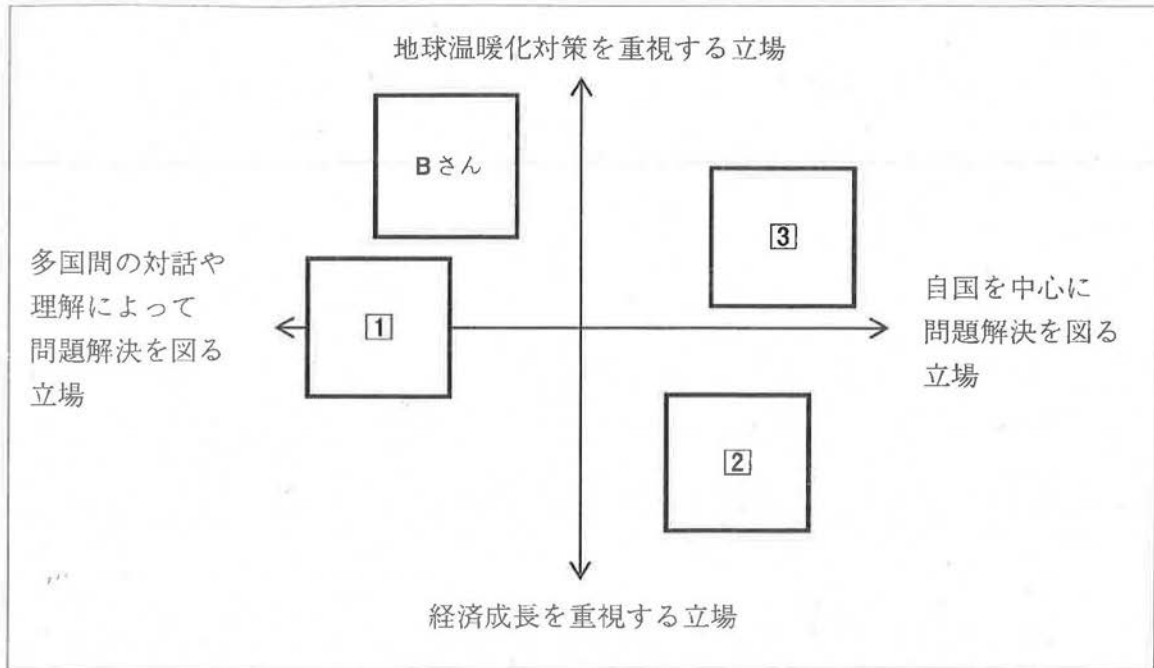
Cさん：地球温暖化によって、干ばつや島が水没するなどの影響が出ていますが、開発途上国にとっては、厳しい環境基準が経済発展をさまたげることになります。まずは、開発途上国の各国がそれぞれの国ごとに、環境問題対策よりも、経済成長をめざすべきだと思います。

Aさん：環境問題を優先すると、景気の悪化も心配されますが、やはり地球温暖化防止対策へ重点的な投資を行うことが重要だと思います。現状としては各国の事情の違いから、合意が得られにくいので、各国それぞれが、独自の方法で二酸化炭素の削減に取り組んでいったほうがいいと思います。

Dさん：この問題の解決は、各国の取り組みも必要ですが、国際連合を通して取り組むべきです。多数の国が参加している国際連合で、公正な話し合いを行い、合意を得ることが大切だと思います。地球温暖化対策と経済成長の両立をめざして、持続可能な方法を検討することが大切だと思います。

Bさん：今後の未来を考える上では、経済成長よりも地球温暖化対策を重視して、新しい目標を設定する必要があると思います。

図



(注) Bさんは、ヨーロッパを例に、厳しい環境基準や環境税の取り組みを参考にすることを提案し、経済成長よりも地球温暖化対策を重視することを主張している。よって、縦軸では、地球温暖化対策を重視する立場であると推定される。さらに横軸では、世界各国が一致して取り組むことを提案しているので、多国間の対話や理解によって問題解決を図る立場であると推定される。

<3人の考えの組み合わせ>

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ア | Aさん-① | Cさん-③ | Dさん-② |
| イ | Aさん-③ | Cさん-② | Dさん-① |
| ウ | Aさん-② | Cさん-③ | Dさん-① |
| エ | Aさん-③ | Cさん-① | Dさん-② |

※(1)～(4)は、該当問題ではないため省略

【分析所見】

4人の主張を環境保全と経済の関係に着目して読み取らせ、地球温暖化対策を重視する立場と経済成長を重視する立場、また、多国間の対話や理解によって問題解決を図る立場と自国を中心に問題解決を図る立場の、それぞれを縦、横の座標軸に適切に位置付けさせる問題である。その際、持続可能な社会を形成するという観点から、地球温暖化対策と経済成長を共に成り立たせ得る解決策を主張する立場をも設定するなど、現実の社会で実際に行われている合意形成の在り方を踏まえた問題となっている。

○社会における出題例の正答等

<地理的分野>

【出題例 1】 * 該当問題 9 (3) 岩手県

廃 止	選んだ資料 [] 廃止を主張する理由 (例) I : 年間利用者数が減ってきているから。 II : 赤字額が増加傾向にあるから。 III : 利用者の約半数が、年に数回程度しか 利用していないから。
存 続	選んだ資料 [] 存続を主張する理由 (例) I : 高齢者の利用者が増えてきているから。 II : 赤字額が最近5年間で増えていないから。 III : 利用者の25%が、ほぼ毎日利用している から。

<歴史的分野>

【出題例 2】 * 該当問題 4 2 (2) 広島県

【出題例 3】 * 該当問題 4 [問3] 東京都

石炭を輸入に頼るようになり、
製鉄所が石炭の産地から離れ、工
業の発達した臨海部につくられる
ようになったため。

幕府による西廻り航路の整備に
伴い、大阪（大坂）に運ばれた松
前藩の特産物である昆布を、薩摩
（薩摩）藩が琉球国に持ち込んだ
から。

【出題例 4】 * 該当問題 2 5 広島県

記 号	ア
理 由	資料から、室町時代の文化は禅 宗の影響を受け、素朴で簡素であ るという特色をもつことがわかり、 それを示す絵はアであるため。

<公民的分野>

【出題例 5】 * 該当問題 6 1 (6) 栃木県

(例) (9月の方が) 平均価格が高いのは、需要量が多かったためである

(と考えられる。)

【出題例 6】 * 該当問題 【問題 3】 問 1 (5) 鳥取県

(解答) イ